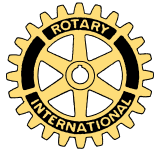
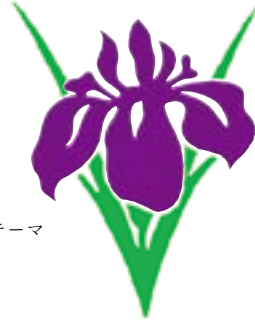


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 太田 宗一郎
幹事 杉浦 文雄
会報委員長 小川 耕示

2010 ~ 2011年度 国際ロータリー Ray Klinginsmith (レイ・クリンギンズミス) 会長テーマ

Building Communities Bridging Continents 地域を育み、大陸をつなぐ

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2705回例会プログラム

[当年度=24回目；当月=5週目]

2011年（平成23年）1月31日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……手に手つないで
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
※第2四半期皆出席表彰（出席委員会）
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(2/7) ……
卓話 「物づくりと刈谷工業高校」
講師 刈谷工業高等学校
校長 鈴木 直樹 様
(紹介者 渡辺 富香 会員)
(2/12) ……西三河分区インターシティ・
ミーティング（全員登録）
14:00 ~ リリオコンサートホールおよび
ホテルクラウンパレス知立
※2月14日(月)の例会変更分です。

2. クラブフォーラム……………〈ロータリー情報委員会〉

- 13:00 卓話 「私の人生を大きく変えた3人の恩人」
講師 ロータリー情報委員会
委員長 鈴木文三郎 様

13. 謝辞
14. 点鐘……〈会長〉

15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

出席

会員総数 90名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 83名
欠席 5名 出席率 93.98%
前々回（1/17）の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 1月26日知立 RC20周年記念式典に会長幹事で出席してまいりました。
2)



マルチプルポールハリスフェロー
霜出俱弘、嶋津孝久、野村紀代彦 会員



ポールハリスフェロー
天野櫻子、伊藤節夫、久米博明、南健 会員

幹事報告

- 1) 本日、大会議室にて理事役員委員長会議を開催致します。関係の皆様よろしくお願い致します。
- 2) 2月12日に開催されますIMの記念品が届きました。西尾の抹茶チョコレートのようなのです。本日配布させていただきました。
- 3) 野村紀代彦会員が交換学生野村早季子さんの派遣先ホストクラブオーストラリア9820地区フランクストンノースRCとバナー交換をしてみましたので回覧します。

委員会報告

●雑誌委員会

- 1) 2月は世界理解月間です。2月23日はロータリー創立記念日です。特集は世界理解月間 海外クラブの例会に出席しました！ ということで9つの記事が掲載されております。「ポリオの移動するターゲット」、いま世界は…「インドの遊牧民・定住しない人々の現在」では親の仕事に左右されてポリオワクチンの接種が非常に困難であるのは道路建設現場に従事する親やレバリなどの遊牧民を親に持つ子供で学校教育も受けられないということが掲載されています。2月こんなことがありましたでは、ポールハリスが初めて仲間3人と会合を持ったきっかけが載ってます。裏ページの「ロータリー・アット・ワーク」のトップページに本日の紹介のメインであります刈谷クラブのタイ山岳民族の村に「刈谷の森」が掲載されています。この記事だけは必ず読んでください。よろしくお願いします。

会長あいさつ

花粉症について

太田宗一郎



私にとって2月中ごろから外に出ると目が痒くなってまいります。

会員の方にもそう言う方が居られると思いますが、杉の花粉が飛び始めた証であります。いわゆる花粉症の発症であります。私はヒノキとスギですので、2月の中ごろより4月

いっぱい約2ヶ月半の間、目薬とマスクがはなせられません。

花粉症とは、スギやヒノキなどの植物の花粉が原因となって、目のかゆみ・くしゃみ・鼻水などのアレルギー症状を起こす病気です。季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれています。さらに、人がある果物や野菜を食べると、口の中がかゆくなり、はれたりする口腔アレルギー症候群と言う症状もあります。

花粉症は人によって発症する木々の種類がまちまちで

(2)

あります。

花粉症を引き起こす木々の種類は18種類ほどといわれております。主なアレルゲンは、スギ、ヒノキ、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、シラカバ、ハンノキ、カナムグラ、ヨモギ属、イネ科等があります。

人によってまちまちですが、多い人ですと、ほとんど1年中かかっている方も居られるようで、本来の鼻炎なのか、花粉症なのかよくわからないと言われる方も居られます。一度検査をされるとどの花粉によって引き起こされているのかはっきり致します。私は検査をする機会がありましたが、先生に花粉症の状態をお話したら「まずスギとヒノキで間違いないでしょう。」と言われ検査を止めてしまいました。

今年の花の量については、今年の夏は大変暑く、なおかつ暑い日が長く続きましたので非常に沢山の花粉が飛び散るようで昨年何倍もの量だそうです。昨年は量が少なく花粉症を発生していない人でも今年は花粉の飛散量が多いため刺激も強まり、新たに花粉症になる方が出るとおられます。出来るだけ花粉症に対する予防をされることをお勧めします。花粉症になっても、飲み薬等による対処方法もありますが、最近鼻の周りに塗る薬などいろいろな対処方法が出てきております。どの方法が良いのかは人それぞれであります。いろいろやってみられるのも良いでしょう。

現在花粉症でない方が一度花粉症になってみたいという様なことをいわれますが、一度かかれば花粉症とはいやでもズート付き合わなければなりませんので付き合わないですむ幸せをかみ締めていただきたいと思います。私にとってすがすがしい春が来たと感じるときはやはりゴールデンウィークに入り、マスクが取れたときであります。花粉症の方々は如何でしょうか？

卓話

「私の人生を大きく変えた3人の恩人」

ロータリー情報委員会

委員長 鈴木文三郎 様



私は、家の中では活発だったが、保育園が嫌いな少年だった。

母が言うには、当時実家のすぐ前にあった製材工場に立て掛けてあった材木の影に隠れて登園拒否をしていたらしい。詳しい原因は自分でもよく分からない。多忙な両親にもつ

とかまってほしいと言う、子供なりのシグナルだったのかも知れない。

そんな環境の中で小学1年の時に、担任の栗元敏明先生から優しい笑顔で迎え入れられて、素直になれたのを覚えている。

1964年、東京オリンピックの年には、自分達でクレヨンを使って作った日の丸の旗と首飾りのようなものを

持って、栗元先生と一緒に今川町の国道1号線まで聖火ランナーを歓迎に出掛けた事を覚えている。

先生のお陰で、家族や親戚の中での文三郎から、一步社会へ踏み出した文三郎へと成長できたと感謝している。

小学校5・6年生の恩師、神谷清助先生。交通事故で亡くなられたが、誰もがその死を惜しんだ。豪放磊落な、金八先生のような先生だった。

理科の授業で、晴れた日には「今日は山へ行く。」と言って教室を飛び出し、自然の宝庫である山の中へ生徒連れ出ししてくれた。アケビ採りや銀杏採り等、生きた自然の教材で教えてくれた。

雪が降ると「今日は1日自由にしろ。」と言われ、始めのうちは喜んで雪合戦等で遊んでいたが、そのうちに自分達の方から「先生、勉強を教えてください！」こう言い出すのを先生は分かっていたのかな。

小学校6年の時、愛知教育大学附属岡崎中学校への進学を勧めて下さったのも神谷先生。その後の人生に大きな意味を持つ選択のチャンスを与えて下さったことに感謝している。

刈谷・泉田の文三郎から、もう一步外の世界へ導いてくれた恩人である。

1973年、私が16歳の時にアメリカ・シカゴから訪れたロータリークラブ交換留学生のマーク・コピンスキー君(私の1つ年上)を、羽田空港(当時は国際空港)まで、家族で迎えに行った。

「Welcome Mr. Mark Kopinski」と書いた横断幕を手作りし、空港ロビーで、ゲートから出てくる彼を待っていた。

それまでにもインドネシアからの研修生が本宅の離れに同居していたこともあり、外国人に対する抵抗感のようなものはなかった。

だが、英語を話す外国人は初めてだった。さらに当時のアメリカは、アメリカンドリームの国として憧れの的だった。私も、もちろんマークにアメリカンドリームを見ていたのかも知れない。

後に大学生になってから、アメリカ1人旅をするのだが、それもこの時に彼と過ごした半年間から与えられた影響は大きいと思う。

来日当初、彼は全く日本語が分からず、私はあいうえおの五十音を書いてポスターのように部屋に貼って、日本語を覚えてもらった。3ヶ月もすると日本語がペラペラになっていた。彼の語学修得能力には感心した。また、私自身、生きた英語を日常生活の中で学べた楽しく為になる日々だった。

京都へ出掛けて、日本の古い歴史スポットを見て廻ったり、将来の夢を語り合ったりと楽しい半年間を過ごした。

2006年6月には、マーク氏の50歳記念パーティーに招かれ、ニューヨークで参加。

その影響を受けて自分も50歳のパーティーを開催しようと思った。初対面から30年以上過ぎた今でも、彼の影響を受け続けているようだ。

第8回理事会

- I 会長挨拶 〈会長〉
- II 議題
 - 1. 2・3月のプログラム(案)について 〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉
 - 2. 新入会員について 〈幹事〉
 - 3. 中間決算報告について 〈会計〉
 - 4. 花見例会について 〈親睦活動委員長〉
 - 5. 観劇家族例会について 〈親睦活動委員長〉
 - 6. 第7回刈谷音楽祭後援名義について 〈社会奉仕委員長〉
 - 7. その他